

令和3年2月2日

## ワーケーションの普及に向けて ～コロナ禍、ワーケーションで日本・地域を元気に!!～

(公財)大阪観光局(理事長:溝畑 宏)では、現在のコロナ禍、ワーケーションで日本・地域を元気にするべく、ワーケーションの取組みを開始します。

ワーケーションの取組みは、with コロナの現在、主に①新型コロナ禍での三密リスクへの対応、②働き方改革としてのテレワーク普及、定着、③ポスト・インバウンド観光、等の観点から大変意義があり、まさに今、取組まなければならない課題であります。

このワーケーションは政府の掲げる「グリーン成長戦略」にも合致する取組みで、ワーケーションもそこに位置づけられています。また、2025年大阪・関西万博を迎える大阪にとって、SDGs推進の観点でも重要な施策となります。

大阪観光局では、「大阪ならではの」ワーケーションの取組みを推進してまいります。具体的には、ワーケーションは一般的には自然豊かなリゾートでの取組みと思われがちであるが、大阪観光局では「都市型、都市部近郊ワーケーション」の取組みを進めたいと考えており、「大阪でもワーケーションができる」ことをアピールしてまいります。

また、この取組みの第1弾として、阪南市及び(一社)阪南市観光協会と共同で、阪南市が有する豊富な自然や名産品等を活かしたワーケーションの取組みを開始しました。大阪府内最南端の市である阪南市は関西空港からも近く、また大阪市内から特急電車で約40分の「里海・里山の自然に恵まれた街」であり、海と山が近接したその環境から、恵まれた食材や名産品が多くあります。

新しい働き方が求められるWithコロナの現在、阪南市においては、密ではない自然に囲まれた環境でリラックス、リフレッシュしていただきながら仕事をするといったニューノーマルな働き方を提案するワーケーションの取組みに賛同いただきました。

阪南市及び(一社)阪南市観光協会では、ワーケーションで阪南市へ訪れる方々をあらゆる面でサポートいただけます。

大阪観光局では今後も、府内各市町村や民間事業者等とも連携し、Withコロナ、Afterコロナを見据えたニューノーマルな働き方でもあるワーケーションの取組みを推進することで、日本・地域が元気になるよう、一層取り組んでまいります。

以上



# PRESS RELEASE

Osaka Convention & Tourism Bureau

公益財団法人

**大阪観光局**

〒542-0081

大阪市中央区南船場4-4-21

TODA BUILDING 5階

TEL (06)6282-5900(代)

FAX (06)6282-5915

**【お問い合わせ先】**

公益財団法人大阪観光局

マーケティング事業部 観光コンテンツ開発担当：砂野、谷村、木村、出口

TEL : 06-6282-5910 FAX : 06-6282-5915

E-mail : [resource@octb.jp](mailto:resource@octb.jp)